

財政・金融政策の役割に関する考え方

2023年1月16日

仲田 泰祐

2008年世界金融危機前の代表的な考え方 (Old Normal)

- 金融政策
 - 短期政策金利の調節で景気変動に対応
- 財政政策
 - 中長期的な成長。分配。
 - 景気変動に対してはAutomatic Stabilizerを通じた受動的な役割

2008年金融危機後の代表的な考え方 (New Normal)

- 金融政策
 - 短期政策金利が下方金利制約に直面
 - 景気後退期には非伝統的金融政策で対応
- 財政政策
 - 中長期的な成長・分配に加え、景気後退局面では景気刺激策として積極的な役割

欧米でのポストコロナの考え方

- New Normalの継続
 - 中立金利の低下により、今後も景気後退局面では短期政策金利を下方制約まで下げる必要が生じる可能性

日本の過去10年とポストコロナ

- 過去10年
 - 景気回復局面でもインフレ率が目標値以下で推移
 - 非伝統的政策の継続
 - 日本特有の社会経済環境・欧米New Normalと異なる政策変遷
- ポストコロナ
 - インフレ率が持続的目標達成の場合はおそらくNew Normal
 - そうでない場合に「過去10年」を継続すべきか否か
 - インフレ率目標値に対する考え方を更新すべきか否か
 - Ben Bernanke: I've viewed inflation targets as important because it was part of the communication process... It was the inflation target itself that was important to me, not the number specifically." (Oct. 11, 2022)